

# 2021年度SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業の選定について

## 1 提案の視点

### (1) バックカスティングによる思考方法

“望ましい未来”を描き、その実現のために“取り組むべき課題”を浮き彫りにする「バックカスティング」という発想法により提案をまとめた。

### (2) バランスの取れた課題解決

互いに複雑に絡み合う課題を、トレードオフの関係に陥ることなくバランスよく解決することを念頭に、仕組みを構築した。

### (3) 部署横断体制による提案モデルの構築

産業振興を基軸に、区民の健康増進や環境配慮社会の構築をめざすモデルを、関係部署の連携により作り上げた。



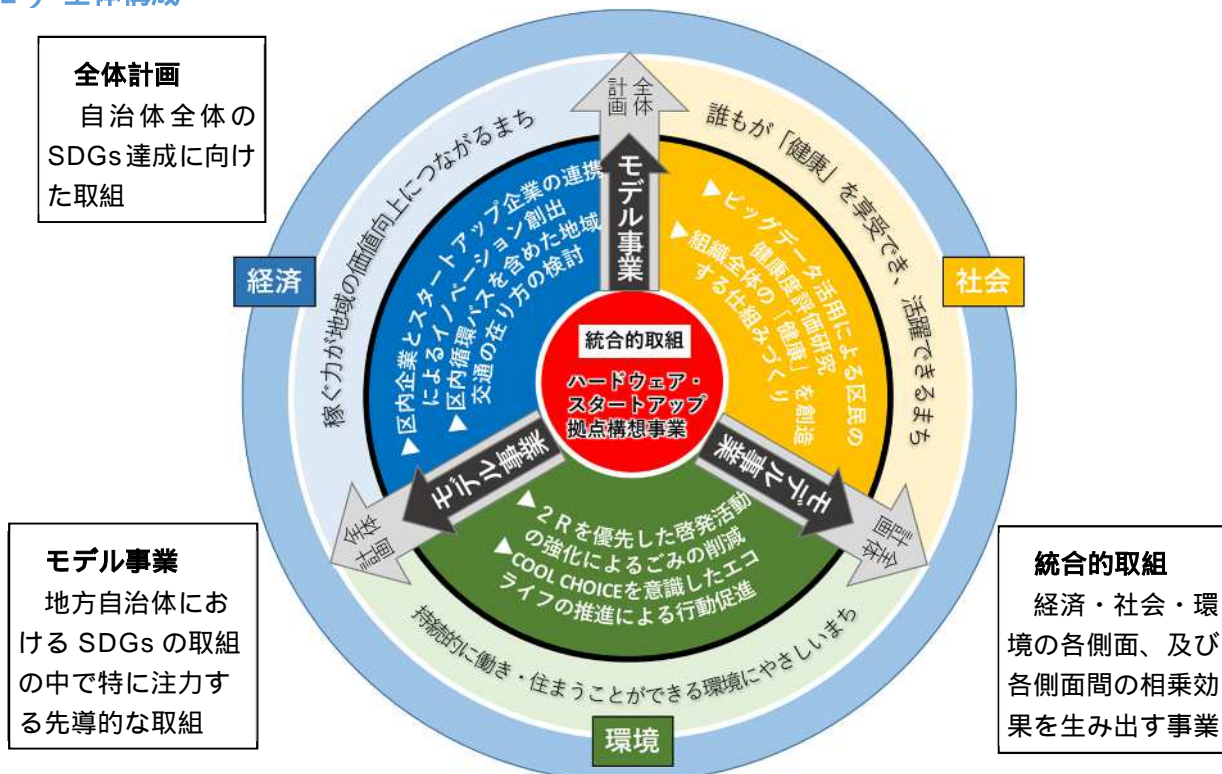
こうした経験やこれから得られる知見を、今後、区全体に波及

## 2 本区の提案内容

### (1) 本提案により2030年に実現をめざすあるべきまちの姿(全体計画)

自律的な経済活動による“プロトタイプ”の創出とまちへの実装を通して、誰もが健やかに自分らしく暮らし、環境負荷の低減が意識された生活を実現する。同時に、この活動に関わる多くの人々が、自らの生きがいを追求する中で、幸せな社会、持続可能な社会の実現に役立っているということを実感できるまち

### (2) 全体構成



### ( 3 ) 自治体 SDGs モデル事業

#### 産業振興を軸としたプロトタイプ実装都市 ~ものづくりによる「暮らし」のアップデート~

医療、防災、高齢化など地域課題に応じ、スタートアップ企業と区内企業との連携によりハードウェアを開発し、社会実験として地域に実装していく。そのプロセスにおける地域と企業とのコミュニケーションを通し、暮らしや仕組みの中に「モノ」を埋め込み、社会課題解決と地域内経済循環を促し、持続可能なまちを実現していく。

統合的取組として、「ハードウェア・スタートアップ拠点構想事業」を展開。地域の特色を生かした「区内企業とスタートアップ企業が連携し、先端技術を生み出す新たな産業集積地」を整備することで、プロトタイプを開発するとともに、その積極的活用により社会課題解決を促し、SDGs 意識の高い事業者を核とした活発な交流による意識の高揚を図る。

プロトタイプ：一般的には、量産・普及する前の試作段階にある製品・プログラムを指すが、本区においては、これに技術やサービスも含めたものと定義している

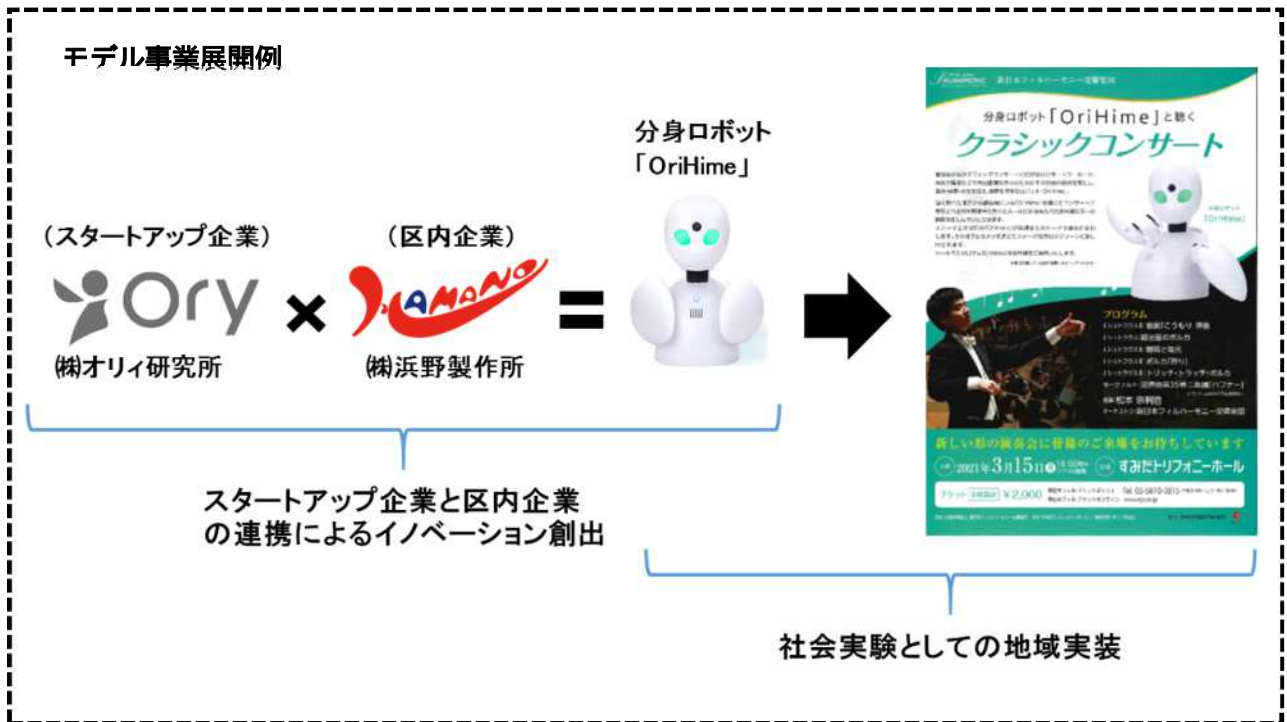
#### 【モデル事業と SDGs の目標との関係】



#### ○生み出される効果

- モノや技術による社会課題の解決
- 企業を巻き込んだ環境配慮社会実現への取組拡大
- 働くことによる生きがい・やりがいの獲得
- 社会課題解決を企業自らの事業として自律的に展開する力 = 「稼ぐ力」の獲得

➡ 経済・社会・環境のバランスの取れたサイクル創出



#### (4) 本区提案に対する評価

- 製造業とITの融合等により、SDGs未来都市に新たなビジョンを持ち込んだ
- 区の資源活用や企業連携、エリア別の位置づけなど、詳細で具体的な計画となっている
- 今後10年の新創業を育むことが期待される
- 区民が参画できる仕組みの工夫について、具体的に明示することが望まれる

### 3 SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業に選定されるメリット

#### (1) SDGs未来都市

- 各省庁の支援策活用等に関する国からの助言
- 国内外への成果発信
- 「地方創生推進交付金」の新規申請事業数の上限拡大(1事業)
- 自治体SDGs推進関係省庁タスクフォースによる支援(3年間)

#### (2) 自治体SDGsモデル事業(上記SDGs未来都市のメリットに加えて)

- 「地方創生支援事業費補助金」による資金的支援(令和3年度のみ)
  - ・「全体マネジメント・普及啓発等経費」: 上限1,700万円 \* 定額補助
  - ・「事業実施経費」: 2,000万円(国費1,000万円) \* 定率補助(1/2)

#### (3) 補助金の活用方針

- 「全体マネジメント・普及啓発等経費」: 上限1,700万円 \* 定額補助
    - SDGsに関する普及啓発、本区のSDGs推進に係るPR等
  - 「事業実施経費」: 2,000万円(国費1,000万円) \* 定率補助(1/2)
    - モデル事業の推進に係る新規事業の実施
- 今後、議案として補正予算を提出予定

〔参考〕応募・選定状況

	2018年	2019年	2020年	2021年	計
SDGs 未来都市	29 ( 55 )	31 ( 57 )	33 ( 77 )	31 ( 53 )	124 ( 242 )
自治体 SDGs モデル事業	10	10	10	10	40

カッコ内は応募数

## 4 SDGs 推進と「(仮称)墨田区産業観光マスタープラン」の関わり

### (1) プラン策定の土台としての SDGs

SDGs は経済発展を持続可能な社会を築くための必要な要素としていることから、現在策定中の「(仮称)墨田区産業観光マスタープラン」のミッション・ビジョン・戦略には、SDGs の理念が反映されたものとなる。

### (2) KPI 設定の指針

「(仮称)墨田区産業観光マスタープラン」においては、戦略・事業を毎年見直すこととしている。このための指標として設定する KPI を、SDGs で定める 169 のターゲットを意識したものとする。

### (3) 地域における連携体制の構築

地域の事業者、団体、教育機関、個人等、多様なステークホルダーとの連携関係を築くにあたり、SDGs の価値観を共通の素地とする。

